

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	A	令和7年5月16日
横断的な課題	その他					
地域重点政策	ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる					長野地域振興局
実施機関	長野保健福祉事務所		担当課	所属	健康づくり支援課	
事業名	働き盛り世代向け健康事業			電話	026-225-9045	
				E-mail	nagaho-kenko@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	健康課題の多い働き盛り世代の生活習慣病予防のため、健康づくりに対する意識付けを長野地域の市町村や協会けんぽ、商工団体などと連携し、健康づくりの取組みを推進する。				
	現状と課題	・長野地域の特定健康診査結果では、男女ともに、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍、ヘモグロビンA1c(過去1～2か月の平均的血糖値)が高い者の割合が県平均より高く、運動習慣のない者も7割を超えている。 また、県民健康・栄養調査結果では20歳以上の食塩を取り過ぎている者の割合は男女ともに9割以上で、塩分を控えることに気を付けている人の割合は、20歳代で1割台、70歳代以上では6割台と若い世代ほど低い傾向にある。 ・このような状況を踏まえ、事業所数が全県の約4分の1を占める長野地域において、働き盛り世代をターゲットに、「果物と野菜の適量摂取」だけでなく、より総合的に「バランスのよい食事と運動」習慣について、幅広く普及・啓発していく必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	①伝わる情報発信 ・食生活スキルを高められ、健康に意識が向く情報を、Instagram等のSNSの活用や社員食堂や弁当販売などで配布する媒体を作成し分かりやすく発信する。 ②自然に健康になれる食環境整備 ・健康に配慮したメニューを提供する飲食店等にゆるく減塩を呼びかけ、「ゆるしお健康弁当」を弁当屋とコラボして販売をした。また健康に配慮したメニューの開発として、弁当の試作を行った。 ・実施内容:ゆるしお健康メニュー開発 ・ターゲット:働き盛り世代が利用する飲食店や社員食堂及び仕出し弁当 ③実践のための健康づくりフォーラムの開催 ・健康づくりのための事例発表や講演、試食などを通して、バランスのよい食事、運動習慣の定着などの健康づくりの意識を醸成し、実践へつなげる。 【概要】 ・開催時期:令和7年2月27日 ・実施内容:講演と食育講座、試食、測定機器を使い健康チェック等 ・参加者:地域住民、関係機関・団体 102名				
	事業期間	令和6年6月 ～ 令和7年3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	①伝わる情報発信	健康情報発信及び媒体作成	101,750	キッチンクロス91,750円[($\text{@}275\text{円} \times 300\text{枚} \times \text{消費税}1.1$)+送料1,000円] デザイン費用10,000円		
	②自然に健康になれる食環境整備	健康に配慮したメニュー開発	29,228	開発支援者報償費12,900円($\text{@}6,450\text{円} \times 2\text{回}$) 旅費1,700円($\text{@}850\text{円} \times 2\text{回}$) 開発費用需用費14,628円		
	③実践のための健康づくりフォーラムの開催	健康づくり・食育フォーラムの開催	45,616	講師報償費33,411円(1名) 支援者6,450円(1名) 旅費850円(1名) 試食品需用費4,905円(100個)		
	①伝わる情報発信②自然に健康になれる食環境整備③実践のための健康づくりフォーラムの開催	消耗品、カラーコピー	10,000	カラーコピー使用料10,000円		
合 計		186,594				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	①Instagramの閲覧数(1投稿当たり) ※参考・・・1投稿当たり平均閲覧数120回		150回	164回	● 達成	
	②開発したメニューの売上率(1店舗あたり)		80%	100%	○ 一部達成	
	③健康づくり・食育フォーラム参加者		100人	102人	○ 未達成	
事業実績・成果	①Instagramの閲覧数 ・長野地域公式Instagram「tabetell nagano【タベテルナガノ】」の更新を月2回の計24回を投稿した。果物や野菜を使ったおすすめレシピの他、保健所でのイベント等も発信しフォローも増え閲覧数も目標を上回り増やすことが出来た。 ②開発したメニューの売上率 ・ゆるしお健康弁当として、2月17日にお弁当店とコラボして40個を販売。即完売となった。 ③健康づくり・食育フォーラムの参加者 ・2月27日にハイブリッド形式で開催し、オンライン参加が3割、会場参加が7割で100人を超える参加者となった。働き盛り世代とともに、全世代にも関わる講演として「人生100年時代を楽しむための体力と運動習慣」を行った。また食育講座として、伊那食品工業(株)に食育の取組みや商品の利用方法など試食を交えて行い、講演とともに食育関係機関や一般住民に健康づくりの知識を深め普及啓発を図ることができた。					
	今後の方向性	今までの取組みやノウハウをいかし、働き盛り世代向けに健康づくりとして“うす味”や“運動”について働きかけを継続させていく。				